

常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに予算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆総合防災情報システム改修事業費

近年の突発的な豪雨に伴い、中小河川の水位が急激に上昇した場合における住民の早期避難を促すため、河川水位予測システムを導入するとともに、中小河川上流部に独自雨量計を設置し、災害対策オペレーションシステムと連携することにより、水害時における速やかな避難情報発出を行うためのシステム改修を行う。

既存水位計の過去実績値およびレーダー雨量計などのデータをもとに水位予測が可能となる。

市内の代表的な中小河川である八反田川、大森川、濁川、水原川を対象に導入する。

(主な質疑と答弁)

問：システム導入事例と有効性は。

答：山形県鶴岡市において、令和2年7月豪雨の際に8時間前に越水の予測をして迅速な避難指示等に繋がった。

文教福祉

◆避難行動要支援者支援事業

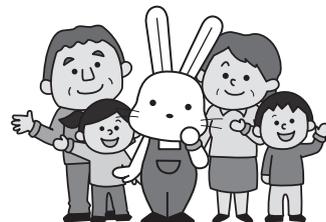
(避難行動要支援者台帳、個別避難支援プランの作成)

避難行動要支援者の個別避難支援プランなどの作成により、「水害時逃げ遅れゼロ」を目指し、避難支援体制を強化する。

(主な質疑と答弁)

問：個別避難支援プランの作成に関して、実際に地域とどのように連携して対応していくのか。

答：要介護3以上など行動難易度が困難な方は、居宅事業所といった日頃から関わりのある社会福祉専門職に個別避難支援プランの作成を依頼する。行動難易度が比較的困難でない方は、地域に作成と見守りを依頼する。



経済民生

◆消費額日本一の名物料理コンテスト事業

消費額日本一となった食材の創作料理コンテストを開催し、飲食店支援とおもてなしの充実を図る。

(主な質疑と答弁)

問：事業の具体的な内容は。

答：消費額日本一である納豆をテーマに飲食店などからメニューを募集する。

入賞作品をPRすることで飲食店への訪問を促進し、納豆のさらなる消費の拡大と飲食店支援に繋げる。



建設水道

◆地域で支える交通推進事業

公共交通空白地域などにおいて、移動困難者の日常生活を支える交通を確保するため、地域住民が主体的に計画・運行する「小さな交通」に対し、アドバイザー派遣や運行費用補助などによる伴走型支援を行う。

(主な質疑と答弁)

問：アドバイザー派遣及び運行費用補助における事業費650万円の内訳とアドバイザー派遣の内容について伺う。

答：内訳は、アドバイザー派遣に250万円、運行費用補助に400万円。アドバイザー派遣の内容については、地域の検討熟度に応じ、学識経験者や他地域で小さな交通の取り組みをしている専門家などの参画のほか、議論を円滑に進めるためのファシリテーターとしてコンサルタントの派遣も想定している。